中濃農林事務所の普及活動状況

令和３年３月３１日現在

今月の重点活動

■ゆず　「上之保ゆず研究会」の発足

農業普及課では、昨年度末に策定した産地のビジョンである「かみのほゆず産地方針」に基づき、ゆずの出荷量増大に取り組んでいる。

３月 12 日、出荷量増大の一手段として上之保ゆず研究会を発足させた。この研究会は、栽培技術の向上を通じて良品質なゆずを生産・出荷し、農家所得向上を図ることを目的としている。第１回目の研究会当日は、農業普及課から農薬実証ほの報告等を行った後、規約や役員選出方法について合意した。

農業普及課では、上之保ゆず研究会の活動を支援し、地域のゆず生産を担う農家を育成していく。

【研究会の様子】

（地域支援係）

売れるブランドづくり

■円空さといも　丸芋率向上に向けて

中濃地域で広く栽培されている円空さといもは、丸い形が特徴であるが、長芋も収穫され、丸芋の割合を向上させることが課題となっている。

３月 12 日、関市内の中濃里芋生産組合員のほ場において、丸芋率向上に向けた肥料試験の植え付けが、組合が所有する種芋プランタ（マルチ同時植付機）を利用して行われた。

農業普及課では、丸芋率向上による収益の増加と産地の更なる発展に向け、試験ほ場の生育調査や収量・品質調査を行う。

【植え付けの様子】

（地域支援係）

■ゆず　かみのほゆず産地戦略会議で「産地方針」の取組みを推進

農業普及課では、「かみのほゆず」のブランド力向上に取り組んでいる。

３月 22 日、かみのほゆず(株)、ゆず生産者代表、ＪＡめぐみの、関市東商工会、関市、県農業経営課の関係者からなる産地戦略会議を開催した。会議では、昨年度末に策定した「かみのほゆず産地方針」の進捗状況について意見交換を行ったほか、ＪＡめぐみの営農部直販課からイオンへの青果販売の実績と計画について情報提供いただいた。

農業普及課では、次年度も「かみのほゆず産地方針」のもと関係機関と連携を図りながら、ゆず産地振興を進めていく。

【会議の様子】

（地域支援係）

多様な担い手づくり

■小麦　岐阜県麦作共励会・豆類経営改善共励会　表彰式

３月 17 日、岐阜県ＪＡ会館において、令和２年度岐阜県麦作共励会・豆類経営改善共励会表彰式が開催された。

当管内では関市の八代治郎氏が麦作共励会優秀賞と、併せて特別賞として岐阜県農業協同組合中央会会長賞を受賞した。排水対策等を基本に品質向上に努め、また、機械化による効率的な作業体系を確立したことで、今回の受賞につながった。

農業普及課では、小麦栽培に対して定期的な生育調査を行うとともに、排水対策などのほ場準備から、追肥、適期刈り取りなど、生育状況に合わせた指導を行っている。今後も引き続き経営安定に向けた支援を実施していく。

【表彰式の様子】
（代理受領者：ＪＡめぐみの）

（地域支援係）

住みよい農村づくり

■水稲　イネカメムシの越冬確認

イネカメムシが水稲出穂後の籾基部を加害すると、玄米肥大が初期段階で停止することから、水稲不稔の原因となることが分かってきた。また、基部加害型斑点米による減収や等級低下の要因にもなっている。

３月 15 日、イネカメムシが多発していた管内の水田近辺の日当たりのよい山の斜面を調査した結果、落ち葉の下で越冬しているイネカメムシを確認した。

農業普及課では、今年の水稲被害を減らすため、越冬したイネカメムシが水田へ飛び込む時期や発生量等を調査し、適期防除等を支援していく。

【越冬するイネカメムシ】

（地域支援係）